

「6月24日・25日の統一行動」！

6月24日は朝から大雨となり、梅雨本番となりました。この日の「6月統一行動」は、8時30分から上京した闘争団員など40名が、永田町駅、国会議事堂駅周辺の地下鉄の駅頭でチラシ配布をおこないました。あまりに大雨のため、9時30分から待機し、その後中止しました。参加された機関の国労東京地本及び各地区本部・支部、高崎地本、静岡地本、名古屋地本、水戸地本、千葉地本の皆さんに大変なご迷惑をおかけ致しました。お詫び申し上げます。

しかし、上京闘争団は、18時30分からの相鉄労組の総決起集会等に、それぞれ参加しました。

横浜・運輸機構に申し入れ

6月25日の「6月統一行動」は、10時30分から横浜にある鉄道運輸機構前で取り組みました。今日は蒸し暑い日になりました。4団体・4者を代表して、国労中央本部高橋委員長、闘争団全国連絡会議神宮議長の挨拶の後、運輸機構に向かって、早期解決を求めるシュプレヒコールを行いました。上京した闘争団員など40名を含む130名が参加しました。

機関としては、国労東京地本及び各地区本部・支部、高崎地本、静岡地本、名古屋地本、水戸地本、千葉地本が参加しました。

また、11時から、4者・4団体として毎月1回はおこなっていますが、鉄道・運輸機構に対して、「解決を図るための経営判断をおこなうこと、解決交渉テーブルの設置をおこない交渉に入ること、政治解決への環境整備を取り組むこと」などについて申し入れを行いました。これに対して、機構側は「冬柴大臣、金子大臣、南裁判長の発言は認識しているし重く受け止めている。1審、2審判決も意味を持って認識している。政治的な働きかけをしていることも認識している。従って環境が従前よりかなり動いていることも認識しているが、今はまだ話し合う場面ではない。基本的には従前とかわらない」と応えました。

